



今できること
プロジェクト
2026-2027
学び直しと伝承

3.11メモリアルネットワーク×今できることプロジェクト

参加者募集！



東日本大震災の経験を根拠に据え、
教訓の伝承に関わる個人・団体・拠点
施設が地域や世代を超えてネットワー
クでつながり、過去に向き合い未来へ
備える意識を全国、世界と共有しながら、「災害で命
が失われない社会の実現」「被災者や被災地域の苦
難を軽減し、再生に向かうことのできる社会の実現」
を目指して活動している団体です。



被災地視察ツアー① 岩手県陸前高田市

(公社)3.11メモリアルネットワークのスタッフが同行する被災地視察ツアーを今年度も開催。1回目は岩手県陸前高田市を訪ねます。岩手県東日本大震災津波伝承館、道の駅高田松原を含む「高田松原津波復興祈念公園」では、パークガイドの解説で見学。「一般社団法人トナリノ」の仮設住宅体験館の見学も行い、語り部の講話に耳を傾けます。

高田松原津波復興祈念公園

奇跡の一本松で知られる、復興の象徴となる公園。震災による犠牲者への追悼と鎮魂、震災の記憶と教訓の後世への伝承とともに、国内外に向けて復興に対する強い意志を発信するため整備されました。地元住民によるパークガイドと一緒に園内を歩き、「東日本大震災津波伝承館 いわてTSUNAMIメモリアル」の見学も行います。



▲公園の中心に設けられた国営の追悼・祈念施設



道の駅高田松原

陸前高田シーサイドターミナル（愛称：タビック45）が、津波で壊滅的な被害を受けましたが、高田松原津波復興祈念公園内で「三陸観光のゲートウェイ」として2019年に再スタートを果たしました。陸前高田・気仙地方・三陸の新鮮な水産物や農産物や特産品を取り揃え、食事を楽しむことができます。



▲観光や震災について学ぶ人たちの交流拠点に



陸前高田3.11仮設住宅体験館

実際に仮設住宅で生活した人たちにヒアリングを行い、当時の居室を再現。暑さ寒さ、狭さなどリアルな住環境を追体験できる体験施設（予約制）です。陸前高田市を中心とした気仙地域の住民で結成され、地域課題を解決する仕組みづくりを目的に活動している「一般社団法人トナリノ」のスタッフがガイドを務めます。



▲当時そのままに再現されたプレハブの建物



被災地視察ツアー① 岩手県陸前高田市

旅行期日

2026年11月20日(金) 日帰り

旅行代金

大人・子ども同額

1名につき 4,400円(税込)

●行程／ ※交通記入例／ 貸切バス ～～ 徒歩 …

8:00 仙台駅東口出発(貸切バス)～～

10:00 道の駅高田松原・高田松原津波復興祈念公園(パークガイド=タビック45、防潮堤、気仙中学校)～～

11:45 気仙中学校～～12:20 海浜館(昼食)～～13:30 3.11仮設住宅体験館(施設見学90分、講話30分)～～

15:40 東日本大震災津波伝承館・道の駅高田松原～～18:30 仙台駅東口着、解散

- 募集人員／40名様(最少催行人員20名様)
- 食事条件／朝0回、昼1回、夕0回
- 集合時間・場所／7:45仙台駅・東口バスプール
- 服装／動きやすい服装、歩きやすい靴(サンダル、ハイヒール不可)
- 持ち物／雨具等
- 添乗員／仙台駅より全行程同行します
- 利用貸切バス会社名／宮城交通

参加条件

- ①当プロジェクトの趣旨に賛同し、理解を深めたい方。
 - ②当日撮影する写真と映像が、新聞・特設HP・SNSに掲載されることをご了承いただける方。※未就学児の参加はご遠慮ください。
- ※応募多数の場合は抽選となり、お申込みサイト(たびと)にて「2026年10月29日(木)～11月4日(水)」の期間で当選発表します。結果ご確認の上、ご当選された方は期日までにお申込みサイト(たびと)にて、購入手続きをお願いします。ご入金が確認でき次第、正式に「お申込み完了」とさせていただきます。2026年11月13日(金)までに「最終旅行案内」をご登録いただいたメールアドレス宛にお送りいたします。※ご提供いただいた個人情報は、お客さまとの連絡に使用いたします。また、当プロジェクトを主催する河北新報社へ提供いたします。

参加ご希望の方は

ご契約は本紙面のみでは承っておりません。詳しい旅行条件は二次元コードからアクセスいただく先の書面をご確認の上お申し込みください。

二次元コードからのお申し込み→二次元コードからアクセスいただき、JTBお申し込みサイト(たびと)よりお申し込みください。大変恐れ入りますが、本ツアーはお電話でのお申込はお受けしていません。何卒、ご理解ご協力の程、宜しくお願い致します。



旅行企画・実施・問い合わせ

株式会社JTB仙台支店

観光庁長官登録旅行業第64号 (一社)日本旅行業協会正会員

〒980-0811 仙台市青葉区一番町4-6-1
仙台第一生命タワービルディング2階
TEL 022-263-6712 (平日9:30～17:30、12月30日～1月3日年末年始休)
FAX 022-263-6693
総合旅行業務取扱管理者:松原輝和 担当者:新谷芽生

私たち賛同企業も、被災地再生と伝承のために「今できること」をともに考え、このプロジェクトに賛同し、推進していきます。

IHI／アサヒビール 東北支社／花王／キューアンドエー／キリンビール 東北第1支社／ケーズデンキグループ・デンコードー／光輝ビルテクノス／神戸製鋼所東北支店／こくみん共済 coop 宮城推進本部／サントリー 東北営業本部／JFEスチール仙台製造所
JTB 仙台支店／住友不動産 東北事業所／生命保険協会 宮城県協会／仙台環境開発／大和証券 仙台支店／DAIWA／DICグラフィックス／伝承千年の宿 佐勘／東急リパブル／東伸環境／日本製紙／日本製紙クレシア／日本損害保険協会／ネクステージ
野村不動産 仙台支店／東日本油化工業／富士フイルムグラフィックソリューションズ／三井住友海上／三井不動産／三菱地所グループ／三菱重工機械システム／宮城県建設業協会／宮城県自動車整備振興会／宮城交通／みやぎ生協
明治安田生命 仙台支社／リコージャパン 宮城支社／Rethink PROJECT (順不同)

これまでの活動内容や新着情報は「今できることプロジェクト」特設HPをご覧ください。

www.kahoku.co.jp/imadeki/

河北 今できること

検索



facebookページもあります。

今できることプロジェクト企画・制作

 河北新報社 営業局

お問い合わせ | 今できることプロジェクト事務局(河北新報社営業部)
tel 022-211-1318